

みんなで「市民大学ミッション」を引き継ぎましょう！



アットホームで笑顔いっぱいの、市民大学らしい総会でした

6月11日、「ユニベルシタスつくば」の通常総会が開催され、すべての議案が承認されました。今回は「つくば市民大学業務の終了・3年間の活動休止」という大きな議案が提出され、参加した会員の方々からは「活動休止に至るまでの経緯を詳しく知りたい」「これまでの蓄積をどのように活かしていくのか」「運営形態を変えるなどして続けていけないだろうか」などのご質問・ご意見をいただきました。それぞれの質問には列席していた幹事がお答えし、場所や規模、形態は未定ながら、つくば市民大学としてのミッションを踏襲していくことを確認しました。総会後はみんなで輪になって茶話会。つくば市民大学の来し方行く末、それぞれのかかわり方、コミュニティ、シチズンシップのあり方など、さまざまなテーマで語り合いました。活動休止まで、あと半年。最後まで、みなさんと一緒に、まなび・つながり・つくりだしていきます。よろしく願いいたします。

演じて感じた「空の村号」リーディングワークショップ

6月17日、劇作家・篠原久美子さんを迎え、「作者と読む福島」の戯曲『空の村号』リーディングワークショップを開催しました。前半は、小学校の授業のなかで演劇を教えた篠原さんによる話題提供。子どもたちが演劇を学ぶことによって、他の人の話を聞くことができるようになった、自分を好きになった、などの興味深いお話をうかがいました。後半はリーディングワークショップ。グループのチーム名を決めたり、自己紹介を時間内に収める工夫をしたりと、さまざまな演劇的なしなかけがちりばめられたワークから、戯曲のリーディングがスタート。参加者全員が登場人物になり、各グループが交代に演じ、それを見て、聞いて、泣いたり笑ったりの1時間。黙読していたときと違って、他の人の声で聞くことで、いままでと違った箇所が心に響いたり、より自分に引き寄せて感じることができました。演じて、感じて、新たな発見があったひと時でした。



ぶっつけ本番でしたが、みんな大熱演。ラストでは涙ぐむ人も

海の魚に「走る」を説明？ 伊藤亜紗さんトークイベント



PC要約筆記を導入し、聴覚障害者にも配慮した場を作りました

6月24日、話題の本「目の見えない人は世界をどう見ているか」の著者・伊藤亜紗さんをお招きしてトークイベントを開催しました。伴走サークル「バンバンクラブ」から3名の方をゲストスピーカーとしてお招きし、見える・見えないそれぞれの立場から「走る」という行為について、視覚以外の感覚を使った空間認識について、伴走の醍醐味など、様々な話題でトークを展開してもらいました。伊藤さんからの「海の中にいる魚に、走るとはどういう感覚か説明するとしたら、どのように説明しますか？」という意表をついたユニークな質問に、ゲストスピーカーは四苦八苦しながらも、独自の言葉でそれぞれの感覚を語ってくれました。「見えていることがふつう」でも、「見えていないことがふつう」の人もある。自分の「ふつう」の基準に当てはまらないことを「ふつうではない特別なこと」と思い込んでいる固定観念に大きな風穴をあけてくれた時間となりました。

注目講座 親子で学ぶ DET (障害平等研修)

本当の障害ってなんだろう？

～違いを持った人どうしが一緒に暮らせるまちに～

「障害平等研修(DET: Disability Equality Training)」は、障害者がファシリテーターとなって行う、社会にある「障害」を考える手法の一つとして行われている参加型研修です。

今回は、日本での DET ファシリテーター養成講座第1期修了生である有賀絵理さんを話題提供者としてお招きし、親子向けに DET の考え方を紹介いただくとともに、様々なワークショップをとおして「違いを持った人どうしが一緒に暮らせるまち」への道すじを一緒に考えます。

親子でインクルーシブな社会について考えたい方、DET とそのファシリテーションを知りたい障害者のご家族の方など、様々な立場からのご参加をお待ちしております！

■ファシリテーター 有賀絵理さん

2014年、日本初・茨城県初の障害平等研修ファシリテーター養成講座第1期修了生となる。現在、茨城大学非常勤講師、公益社団法人地方自治研究センター研究員、茨城大学人文学部市民共創教育研究センター客員研究員とし、「障がい教育」、「地域福祉」を専門に研究している。車椅子ユーザー。著書に『災害時要援護者支援対策—こころのバリアフリーをひろげよう—』(株)文真堂。

■日時

2017年7月22日(土)10:15~12:00

■参加費

大人 500円 小学3年生~大学生 100円

詳細は同封のチラシをご参照ください。



注目講座 温故知新「昭和の家事」

記録映画「昭和の家事」鑑賞と 小座布団づくり体験



記録映画「昭和の家事」を鑑賞し、ちょっと昔の主婦たちが家の中でどのように立ち働いていたかを知り、ワークショップや参加者間の対話を通して、その「豊かさ」を実生活につなげるヒントを探る上映会。今回の上映作品は、「夏掛け布団をつくる」。明治生まれのスズさんが、着なくなった夏の着物地で、夏用の軽い布団を仕上げる様子が収められています。かつて布団は自宅で仕立てていたもの。懐かしい方も、初めて見る方にも見どころ満載の映像です。

鑑賞後のプチ体験「小座布団を作る」

映像で見た「綿入れ」の作業を実際に体験できます。仕上がりは椅子に載せても使える38cm角。綿入れのコツや手縫いの面白さを学ぶとともに、映像のこと、裁縫などの家事の昔・今・将来について対話していきましょう。

■ナビゲーター

齋藤一雄さん(綿の専門家/斎藤綿店)、
木村寿子さん(和裁の講師/はんでんや)

■日時 2017年7月29日(土) 14:00~16:30

■参加費 鑑賞無料 プチ体験代として1500円(材料費)

詳細は同封のチラシをご参照ください。

特別寄稿:平井光之さん

(歴史学習コンサルタント サロン「大人の寺子屋」主催)

つくば市民大学よ永遠なれ!

2013年1月12日から現在まで、原則第二、第四土曜の午前中に歴史トークカフェ(現在は「大人の寺子屋」に名称変更)を開催し続けて、もう4年半、100回を数えました。

日本と日本人のことをよく知らないまま死んでいってしまうのはもったいない、多くの方々にもっと日本のことを知ってほしいと思って始めたこの講座がこうして続けてこられたのも、つくば市民大学という場のおかげです。

この場でみなさんと討議しながら作りだした歴史の話をもとに、つくば市内や都内のカルチャーセンターや自治体、企業などで講演をさせてもらえるようになりました。こんなやりがいのある活動はありません。ほんとに、これまで私の講座に参加していただいたみなさんには感謝感謝です。徳田さん、とこりさん、江塚さんはじめスタッフのみなさんありがとうございました。

ろうきんビルの5Fから眺めるつくばの風景ももう見られなくなると思うと寂しいですね。あと半年ですが、精いっぱい活動していきますので、「大人の寺子屋」に奮ってご参加ください。

そして、つくば市民大学の復活・再開を心から祈っております。

「大人の寺子屋」……2013年「歴史トークカフェ」としてスタート。以来、2016年6月まで80回開催、日本人の歴史、世界の宗教、国際情勢等を中心に話題提供。2016年、「大人の寺子屋」として、リニューアル。国際社会を動かしている根源的価値観、および現代日本人の考え方のルーツとしての「日本人の歴史」を学びなおしたいという、「大人」のための学び場を提供し続けている。毎月第二・第四土曜日開催。

代表幹事・徳田の「オススメの一冊」

高山佳奈子(著)『共謀罪の何が問題か』

(2017年5月・岩波ブックレット)

私たちは、いかにして、より「正しい」解決策を、より「正しく」つくりあげていくことができるのだろうか。地域で、社会で、大小さまざまな課題と向きあうなかでの、永遠のテーマともいべき命題です(なお、前者の「正しさ」は、内容面の「正当性(rightness)」概念であり、後者の「正しさ」は、手続面での「正統性(legitimacy)」概念です)。

6月15日に成立した「組織犯罪処罰法改正案」。本書は、この法案の「正当性」を問う一冊です。刑法学者である著者の分析では、「テロ対策のため」「オリンピックのため」「国際条約のため」「組織的犯罪集団に限定し、構成要件を厳しくした」という政府側の主張は、全部「ウソ」ということになります。さあ、どちらが正しいのでしょうか？

一方の「正統性」はどうか。衆議院法務委員会では、形式的な審議時間が経過したことをもって審議が打ち切れ、強行採決。参議院では法務委員会での採決すら行われず、「中間報告」という緊急手段によって本会議が開催され、採決強行。この「事実」を、どのように捉えればよいのでしょうか？

考えること、話しあうこと。その余地は、まだ残っています。(徳田)

スタッフよりヒトコト

先日開催した会員総会終了後の茶話会で、ある参加者の方が「ろうきんビルという『場所』はなくなっても、つくば市民大学で学んできたことを自分の持ち場に活かした『場』を作っていきたい」と、うれしいことをおっしゃってくださいました。ろうきんビル5階という「場所」がなくなるのは寂しいけれど、みんなでつくりあげる「まなびの場」は、これからもずっと続きます。12月末まで講座は目白押し。一つ一つの場を大切に、最後まで走り抜けますよ～！(とこり)

つくば市民大学

〒305-0033 つくば市東新井15-2 ろうきんビル5階

TEL:029-828-8891 Fax:029-828-8892

e-mail:info@tsukuba-cu.net Twitter:@tsukuba_cu

web サイト・Facebook:「つくば市民大学」で検索